

平成24年度山内図書館の目標と振り返り

目標1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。 <サービス目標>

取組項目	山内図書館の具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
蔵書再構成5か年計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> 一般、児童とともに課題解決に役立つ参考図書の収集に努めます。 郷土資料や一般に流通しない資料の収集に努めます。特に青葉区内の地域資料の収集に力を入れます。 単行本、文庫本、外国語図書とともに寄贈資料の受け入れを積極的に進めます。 高齢者の多い地域であることに即し、高齢者向けの図書を多角的に収集・提供します。 防災、原子力など東日本大震災後に生じた利用者の要求に速やかに応えていきます。 ティーンズ向け図書の質を向上させます。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考図書・基本図書の補充と買い替えを計画的にすすめる 郷土資料受け入れ目標 400冊 寄贈図書受け入れ目標 1300冊 高齢者向けの図書受け入れ目標（3門、4門を中心に）200冊 防災、エネルギー、環境、災害支援図書 目標50冊 各門ごとに厳選 	<ul style="list-style-type: none"> 参考図書・基本図書は寄贈による補充の機会があり、蔵書の幅を広げることができました。今年度は人文分野を中心に補充と買い替えをすすめています。 郷土資料に収集に力を入れ目標冊数以上受け入れることができました。(541冊) 寄贈は一般・児童ともに積極的に受け入れをすすめて、目標を大幅にうわわっています(一般2,115冊、児童290冊)。 高齢者向けの図書を、生活基本情報、健康、趣味などの観点から多角的に選書し、目標冊数収集することができました。 東日本大震災後の市民要望に応じて、防災およびエネルギー問題などの新刊を積極的に購入することができました。 	A
子ども読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 小学4年生～中学生による図書館サポーター企画、やまちゃんキッズクラブを継続して開催します。 おはなしボランティア「空飛ぶじゅうたん」と連携し、おはなし会を継続します。 毎月のおはなし会の他に「子ども読書の日」「はまっ子読書の日」夏休みに合わせ、おはなし会を開催します。 小学生一日図書館員や検索機・インターネット百科事典を利用した本の探し方講座等、子どもたちが図書館利用や本の探し方・調べ方を学べる事業を開催します。 区内小中学校図書館の環境整備状況の把握に努め、要請のある学校の相談に応じ、アドバイスを行います。 学校教育活動やボランティア活動支援体制の拡充をします。 学校図書館ボランティア活動支援講座を図書館や地区センターで開催します。 山内図書館にて、ボランティア活動支援としてボランティア相談日を開催し、また、ボランティア交流会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回 通年 年3回 年2回 支援実施校25校(継続校舎) 通年 年3講座(2か所で) 年6回(交流会含む) 	<ul style="list-style-type: none"> やまちゃんキッズクラブを10、11月に開催。職員が毎月出演する地域FM番組で、おすすめの絵本を紹介しました。館外での業務体験は今回が初めて。(参加各回2人)3月には修理を体験予定。 おはなしボランティア「空とぶじゅうたん」と連携し、おはなし会を継続しました。 「春のおはなし会とミニ工作会」(参加23人)「はまっ子読書の日秋の特別おはなし会」(参加23人)8月に「夏のおはなし祭り」(参加数延べ754人)を実施しました。 「夏休み一日図書館員」(参加35人)「小学生のための調べ方講座」(参加8人)を実施しました。 学校図書館環境整備相談として学校訪問をしました。(延べ学校数70校/696名の教職員対話) ボランティア活動支援として学校訪問をしました。(延べ学校数35校/546名のボランティア対象) 支援講座を開催しました。(14回、105校、188参加者数) ボランティア相談日を年6回開催しました。(31校、73名)ただし、交流会を含みます。 	A
市民の学習活動・課題解決の支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や世代・ライフスタイルに応じた課題解決支援となる自主企画事業を実施します。 郷土資料の調べ方を効率的に案内できるように、パスファインダーを作成します。その一部をホームページの新しいコンテンツとして公開します。 土日等のカウンターが混雑する時間帯にはフロアに案内係をおき、利用者の目的に沿った案内を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 週2日 	<ul style="list-style-type: none"> 青葉区は高齢者と子育て世代が多いため、シニア層に向け「中村メイコ氏講演会」「相続と遺言講座」「介護予防パネル展」、子育て世代に向け「おはなしごっこ012」「パパも一緒に読み聞かせ」等を実施しました。 郷土資料に関するパスファインダーをホームページの新コンテンツ「青葉探訪 郷土資料の探し方」として追加しました。 土日祝日の15～17時にカウンター付近に腕章を付けた「案内係」を配置。貸出、登録等の利用目的に沿った一次的案内とOPACの操作方法や書架案内などを行い、スムーズな利用と課題解決を支援しました。 	B
市民協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「夏のおはなし祭り」を継続開催し、地域で活動する読み聞かせボランティアの活動と交流の機会とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 年1回 	<ul style="list-style-type: none"> 8月2日(木)午前10時～午後8時 第2回目を開催しました。昨年度は実施できなかった夜間までの開催時間とし、参加者 子ども 397名、大人 357名と、昨年よりも192名 多参加者が増えています。 	A

目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。 <管理運営目標>

取組項目	山内図書館の具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
身近で便利な図書館サービスの充実についての検討	<ul style="list-style-type: none"> 図書取次サービスなど、身近で便利な図書館サービスの一層の充実に取り組みます。加えて、年始や夏休みなど利用者の使用頻度が高くなる時期は駅ポストの回収回数を増やすなど円滑なサービスを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 取次サービス取扱い件数500件/日、 夏季・年始駅ポスト2回目回収冊数135冊/日 	<ul style="list-style-type: none"> 取次サービス取扱い件数495件/日、 夏季駅ポスト2回目回収冊数(138/日) 年始は回収のみで集計はできず。 	B
市民の意見が反映される仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> 山内図書館利用者フォーラムを開催し、利用者の声を図書館運営に反映します。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回以上開催 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回開催 	C

目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。 <独自目標>

取組項目	山内図書館の具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
ホームページや印刷物による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの情報コンテンツのアップデートを迅速に行い、より利用しやすいホームページにします。ホームページに「キッズページ」を新設し、おはなし会や子ども向けイベントの案内など、親子に向けた図書館情報をよりわかりやすくお届けします。 ・図書館だよりやメールマガジン、ブログを用いて、話題の本や司書による本の紹介をすることで、読書推進につなげます。 	ホームページアクセス数3%アップ	ホームページのアクセス数は前年比15%増(1月末時点)を記録しました。3月には、キッズページを新設するとともに、スマートフォン用のホームページを作成し、幅広い層に向けた利用しやすいホームページの構築に努めました。	A